

# 令和3年度 第1四半期（2021年4月～6月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

## 1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=23 事業所(回答率 92%)

## 2. 調査対象期間

今期=2021年4月～6月

- ・前年同月比=前年同期(2020年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2021年1月～3月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2021年7月～9月)の見通し

## 3. 調査期間 2021年6月15日～6月28日

## 4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

## 5. 調査項目ごとの状況

### (1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲34.6 で、業種別にみると「小売業」が 0.3 で最も高く、「建設業」が▲24.8で続いている。

先行きは13.2p悪化の▲47.8 で、業種別では「サービス業」で横ばい、その他業種で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2021年 1~3月期 (前回調査)	前期比	2021年 4~6月期 (今回調査)	前期比	2021年 7~9月期 (先行き)	今期比
全産業	▲33.2	↗	▲34.6	↘	▲47.8	↘
建設業	▲19.6	↗	▲24.8	↘	▲25.0	↘
製造業	▲60.0	→	▲40.0	↗	▲60.0	↘
卸売業	▲39.8	↗	▲39.6	↗	▲60.0	↘
小売業	▲25.0	↗	0.3	↗	▲25.0	↘
サービス業	▲20.0	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲35.3	↗	▲26.7	↗	▲26.8	↘
(参考)東北全産業	▲44.0	↗	▲30.1	↗	▲32.9	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



## (2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲43.3で、業種別にみると「建設業」が▲24.8で最も高く、「卸売業」が▲39.6で続いている。

先行きは13.2p悪化の▲56.5で、「サービス業」で横ばい、その他の業種で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2021年 1~3月期 (前回調査)		2021年 4~6月期 (今回調査)		2021年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲41.5	↗	▲43.3	↘	▲56.5	↘
建設業	0.6	↗	▲24.8	↘	▲50.0	↘
製造業	▲60.0	↗	▲40.0	↗	▲60.0	↘
卸売業	▲59.8	↗	▲39.6	↗	▲60.0	↘
小売業	▲25.0	↗	▲49.8	↘	▲50.0	↘
サービス業	▲59.8	↘	▲59.8	→	▲59.8	→
(参考)全国全産業	▲34.3	↗	▲18.7	↗	▲23.5	↘

※(参考)は日本商工会議所LOB調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

## (3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲43.3で、業種別にみると「建設業」が▲24.8で最も高く、「卸売業」が▲39.8で続いている。

先行きは4.2p改善の▲39.1で、「建設業」「小売業」で改善、「卸売業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2021年 1~3月期 (前回調査)		2021年 4~6月期 (今回調査)		2021年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.2	↗	▲43.3	↘	▲39.1	↗
建設業	0.2	↗	▲24.8	↘	0.0	↗
製造業	▲60.0	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
卸売業	▲19.8	↗	▲39.8	↘	▲60.0	↘
小売業	▲24.8	↗	▲49.8	↘	▲25.0	↗
サービス業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲33.9	↗	▲25.2	↗	▲26.7	↘

※(参考)は日本商工会議所LOB調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲13.0で、業種別にみると「建設業」が0.3で最も高く、「小売業」が0.0で続いている。

先行きは13.1p悪化の▲26.1で、「卸売業」「小売業」で横ばい、その他の業種で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2021年 1~3月期 (前回調査)		2021年 4~6月期 (今回調査)		2021年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲12.4	↗	▲13.0	↘	▲26.1	↘
建設業	0.2	→	0.3	↗	▲25.0	↘
製造業	▲20.0	↗	▲20.0	→	▲40.0	↘
卸売業	▲19.8	↘	▲20.0	↘	▲20.0	→
小売業	0.3	↗	0.0	↘	0.0	→
サービス業	▲20.0	↘	▲20.0	→	▲40.0	↘
(参考)全国全産業	▲20.9	↗	▲17.8	↗	▲19.8	↘

※(参考)は日本商工会議所LOB調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

#### (5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲34.8で、業種別にみると「製造業」が0.0で最も高く、「建設業」「小売業」が▲25.0で続いている。

先行きは8.7p悪化の▲43.5で、「建設業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2021年 1~3月期 (前回調査)		2021年 4~6月期 (今回調査)		2021年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.3	↘	▲34.8	↘	▲43.5	↘
建設業	▲40.0	↘	▲25.0	↗	▲75.0	↘
製造業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
卸売業	▲60.0	↘	▲80.0	↘	▲80.0	→
小売業	▲25.0	↘	▲25.0	→	▲25.0	→
サービス業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲25.7	↘	▲38.0	↘	▲35.9	↗

※(参考)は日本商工会議所LOB調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

## (6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は 0.2 で、業種別にみると「建設業」「サービス業」でやや不足となっている。

先行きはほぼ横ばいの 0.3 で、「建設業」「小売業」でやや人手不足感が強まっている。

図表6 従業員DI

	2021年 1～3月期 (前回調査)		2021年 4～6月期 (今回調査)		2021年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	→	0.2	→	0.3	↗
建設業	0.4	→	0.5	↗	0.8	↗
製造業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
卸売業	0.2	↗	0.0	↘	0.0	→
小売業	0.0	↘	0.0	→	0.3	↗
サービス業	0.4	↘	0.6	↗	0.6	→
(参考)全国全産業	6.4	↘	9.1	↗	11.7	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

## 6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
建設資材の高騰、納期遅れが住宅建築に影響している。	建設業
コロナウイルスの影響が大きい。	サービス業
今はワクチン接種だけが希望の光。人流が元に戻れば何とかなると信じて我慢するだけ。	サービス業